

CONTENTS

- 02 平成30年度当初予算
- 04 桜川市職員の人事異動
- 06 SAKURA フェスティバル開催
シリストラ市桜川訪問団来訪
- 07 まちの話題
- 08 いばラッキー通信 vol.4
平成29年度岩瀬小学校卒業生壁画制作
寄付寄贈
- 09 ヤマザクラ通信 vol.5
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 地域医療情報
災害時における協定を締結

表紙

第3回 ヤマザクラの里 桜川市
SAKURAフェスティバル



4月14日、桜川市総合運動公園で第3回ヤマザクラの里桜川市SAKURAフェスティバルが開催されました。
写真は、西ステージで行われたYOSAKOIフェスタin桜川で披露された踊りの様子です。
市内外のチームによる踊りは、多くの来場者を魅了しました。

桜川市の人口と世帯

【人口】 42,643人 (－157)
【男】 21,137人 (－66)
【女】 21,506人 (－91)
【世帯】 15,329世帯 (－13)
()は対前月増減
住民基本台帳
平成30年4月1日現在

平成30年度 当初予算

総額 342億8,644万円
一般会計 189億5,000万円

市民1人(1世帯)
当たりはこんな金額

市民の皆様が負担する税を1人(1世帯)当たり
に換算すると
10万6,808円(29万7,125円)
市政に使われるお金を1人(1世帯)当たり
に換算すると
44万4,387円(123万6,219円)

※人口/42,643人
世帯/15,329世帯
(平成30年4月1日現在)

市の予算を市民の皆さんに身近に感じていただくため、平成30年度一般会計予算の歳入(市税)と歳出を、市民1人(1世帯)当たりで表してみました。金額は、4月1日現在の人口と世帯で割ったものです。

平成30年度 一般会計主要事業の予算

ハード事業

(建物の建設・修繕、道路整備など工事をする事業)

総務費▶大和駅北地区開発整備事業…17億190万4千円

教育費▶桃山小中一貫教育校建設事業…2億5,307万8千円

土木費▶道路新設改良事業…1億2,934万6千円、道路維持事業…7,315万4千円

ソフト事業

(ハード事業以外の事業)

総務費▶国体開催事業6,782万2千円、公共交通事業…4,931万5千円

民生費▶障害者福祉事業…9億3,765万3千円、老人医療給付事業…6億2,957万4千円、介護保険事業…6億110万4千円、児童手当事業…5億9,656万5千円、生活保護支給事業…5億7,323万1千円、子どものための教育・保育給付事業…5億2,614万2千円、国民健康保険事業…4億8,483万円、医療福祉事業…3億2,997万円

教育費▶学校給食センター事業…3億1,949万3千円、小学校管理事業…1億6,206万2千円、史跡等保存整備事業…1億3,062万2千円、中学校管理事業…6,804万3千円

衛生費▶保健衛生総務事業…15億1,284万2千円、清掃総務事業…5億3,861万2千円、予防総務事業…7,914万1千円

農林水産費▶農業集落排水繰出事業…2億2,417万、多面的機能支払交付金事業…1億7,065万9千円、霞ヶ浦用水事業…1億4,204万4千円

歳出 市民の皆さんのために使われるお金

一般会計の歳出では、民生費が最も多く、高齢者や障がい者・児童などの福祉の充実を図るために使われます。続いて多いのが、市立病院整備や公共交通、情報管理などの総務費です。次に多いのが、健康促進、環境保全、ごみ処理などに充てられる衛生費。以下、学校給食センターや市立学校などの教育費、公債費、土木費、農林水産事業費、消費費などの順になっています。
※()内は、構成比率

一般会計の歳出 (市民の皆様のために使われるお金)

- ①民生費 58億1,531万8千円(30.7%)
社会福祉サービス、生活保護など
- ②総務費 37億149万3千円(19.5%)
市立病院整備、公共交通、情報管理など
- ③衛生費 24億9,808万5千円(13.2%)
健康促進、環境保全、ごみ処理など
- ④教育費 18億6,027万2千円(9.8%)
学校給食センター、市立学校など
- ⑤公債費 15億5,386万5千円(8.2%)
市の借入金の返済など
- ⑥土木費 13億4,962万8千円(7.1%)
道路や公園の建設や修繕など
- ⑦農林水産事業費 9億8,287万9千円(5.2%)
- ⑧消防費 8億2,353万9千円(4.3%)
防災対策、消防、救急救命活動など
- ⑨その他 3億6,492万1千円(2.0%)



歳入 市に入ってくるお金

一般会計の歳入のうち最も多いのが、一定の基準により国から配分される地方交付税で、全体の約28%を占めています。続いて多いのが市税で、市民税・固定資産税・軽自動車税などです。次に多いのが、国からの補助金である国庫支出金。以下、市債、繰入金、県支出金などの順になっています。
※()内は、構成比率

一般会計の歳入 (市に入ってくるお金)

- ①地方交付税 53億5,000万円(28.2%)
所得税・消費税などの国税の一部を国から交付される収入
- ②市税 45億5,462万6千円(24.0%)
市民税、固定資産税、軽自動車税など
- ③国庫支出金 19億3,873万2千円(10.2%)
学校や道路などの建設、扶助費などに対して国から補助される収入
- ④市債 18億5,320万円(9.8%)
事業を実施するために長期的に国などから借り入れる収入
- ⑤繰入金 16億5,252万4千円(8.7%)
- ⑥県支出金 12億2,959万9千円(6.5%)
学校や道路などの建設、扶助費などに対して県から補助される収入
- ⑦地方消費税交付金 7億1,835万9千円(3.8%)
県に納付された消費税の一部を県から交付される収入
- ⑧諸収入 5億4,595万9千円(2.9%)
学校給食費や高額療養費返納金などの収入
- ⑨繰越金 3億円(1.6%)
- ⑩その他 8億700万1千円(4.3%)

桜川市の基本となる平成30年度当初予算が、平成30年第1回桜川市議会定例会で、可決・成立しました。市財政の中心となる一般会計予算額は189億5,000万円、国民健康保険特別会計など6つの特別会計と2つの事業会計を含めた予算総額は、342億8,644万円となり、前年度当初予算の合算額と対比して約1%の減となります。
今月号では、主に一般会計予算の概要を歳入・歳出別にお知らせします。

平成30年度当初予算一覧

区分	平成30年度予算	
一般会計	189億5,000万円	
特別会計	国民健康保険	53億5,923万円
	農業集落排水事業	4億2,730万6千円
	公共下水道事業	6億1,408万4千円
	介護保険	42億3,524万7千円
	介護サービス事業	924万2千円
	後期高齢者医療	4億2,313万1千円
水道事業会計	13億3,275万8千円	
病院事業会計	29億3,544万2千円	
合計	342億8,644万円	